

溶剤可溶性ポリアイミドワニス

Q-AD-X0516 のご紹介

用途：ラミネート 2層 FCCL、等

1. 性質

1-1) 特徴

ポリアイミド樹脂を溶剤に溶かしたワニスです。溶媒を除去するだけでポリアイミドが得られます。また、ポリアイミドフィルムや VLP 銅箔との接着性に優れ、高い屈曲性を示しますので、ラミネート 2層 FCCL 用の TPI 層としても使用可能です。

1-2) 一般項目

項目	単位	特性値	備考
溶媒	-	NMP BAME	N-メチル-2-ピロリドン 安息香酸メチル
固形分	%	10	240℃×30min
粘度	cp	15,000	at 25℃
ポリアイミド比重	-	1.32	at 25℃

1-3) 保存安定性

室温で保存が可能です。一般的なポリアイミドワニスと比較して、経時による粘度変化が少ないので、長期保存が可能です。ただし、水を吸い易いので、密栓して保管するようにして下さい。

1-4) 使用可能な溶剤

NMP、BAME に対して高い溶解性を示します。ご希望の固形分・粘度に調整してご使用下さい。



2. 使用例

ラミネート FCCL 用ポリアイミドフィルムの作成方法

ベースフィルムへ TPI 塗布施工(スピンコート、バーコーター等) → 乾燥(熱風乾燥、IR 炉等)

120℃×1~5min+150℃×1~5min+180℃×1~5min+210℃×1~5min+240℃×1~5min

厚みや乾燥条件によって異なります。

3. 物性

項目	単位	特性値	備考
ガラス転移点	℃	220	TMA
熱膨張係数	ppm	49	50~200℃
熱分解温度	℃	490	Td2
耐薬品性	%	-0.03	NaOH(40g/L, 60℃×15min) による重量減少

測定サンプル：25umt TPI フィルム

4. お問い合わせ先

〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 12-5

株式会社ピーアイ技術研究所 横浜本社 営業部

TEL：045-778-3355

FAX：045-778-3356

E-mail：info@pird.co.jp